

「鉄道地震工学研究センター 2024 年度 アニュアルミーティング」を開催しました

2025年1月27日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）では、鉄道地震工学研究センターの活動を紹介し、研究開発や情報配信について意見交換する場として、2014年度よりアニュアルミーティングを開催しています。本年度は下記のとおり開催いたしました。

【概要】

南海トラフ地震など、将来発生が予測される巨大地震への対策について、「今、改めて巨大地震への備えを考える」をテーマとし、現在の備えや今後の方向性などについて鉄道事業者や専門家を交えて幅広い議論を行いました。

鉄道地震工学研究センターの最新の研究成果3件についての報告後、特別セッションでは4名の専門家から地震の基礎、発災時の情報発信や対策に関する話題を提供して頂き、聴講者を含めた総合的な意見交換を行いました。この中で、様々な被災シナリオに基づくハード・ソフト両面での総合的な対策を、業界や会社の枠を超えて継続的に行う必要があることを再確認しました。さらには、専門的な知識をわかりやすく社会に伝えていくことの重要性についても言及がありました。



鉄道地震工学研究センター 研究報告



特別セッション

「今、改めて巨大地震への備えを考える」

1. 開催日時：2024年12月25日（水） 14時00分から17時30分
2. 開催場所：日本工業倶楽部会館 大会堂（東京都千代田区丸の内）およびオンライン配信
3. プログラム（敬称略）

■開催挨拶

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター長 豊岡 亮洋

■鉄道地震工学研究センター報告

「光センシング技術（DAS）の鉄道地震防災への活用検討」

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震解析研究室 副主任研究員 片上 智史

「効率的で精緻な地点依存の設計地震動算定法」

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震動力学研究室 研究員 杉山 佑樹

「鉄道橋りょう・高架橋の地震時冗長性の定量評価法」

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震応答制御研究室主任研究員 和田 一範

■特別セッション：「今、改めて巨大地震への備えを考える」

(1) 趣旨説明

（前掲）

豊岡 亮洋

(2) 話題提供

気象庁 地震火山部 地震火山技術・調査課 課長

東田 進也

「地震と情報の話」

内閣府 政策統括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当）付 参事官補佐 福山 由朗

「南海トラフ地震臨時情報発表時の防災対応」

東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部 部長 森川 昌司

「地震に備えた鉄道事業者の対応」

鉄道総研 鉄道地震工学研究センター 地震解析研究室 研究室長 是永 将宏

「鉄道の地震対策に関する研究開発」

(3) 質疑、意見交換、まとめ

■閉会挨拶

鉄道総研 研究開発推進部 次長 小島 謙一

4 参加者

鉄道事業者をはじめ官公庁、大学および一般企業より143名

（問い合わせ先）公益財団法人鉄道総合技術研究所 総務部 広報 TEL：042-573-7219